

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
106	保健体育	保 健	1 / 2 1～2年次まで継続履修	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
1	なし	なし	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店) 現代高等保健体育ノート 改訂版 (大修館書店)	
目 標				
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性	
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
単元・作品名		学 習 内 容	到 達 度 目 標	
前 期	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方と成り立ち</li> <li>私たちの健康のすがた</li> <li>生活習慣病の予防と回復</li> <li>がんの原因と予防</li> <li>がんの治療と回復</li> <li>運動と健康</li> <li>食事と健康</li> <li>休養・睡眠と健康</li> <li>喫煙と健康</li> <li>飲酒と健康</li> <li>薬物乱用と健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について説明できる。</li> <li>わが国の健康水準の変化とその背景、現在の健康問題について説明できる。</li> <li>生活習慣病の種類と要因、一次予防と二次予防について説明できる。</li> <li>がんの種類と要因、一次予防と二次予防について説明できる。</li> <li>がんのおもな治療法や緩和ケア、社会的な対策について説明できる。</li> <li>健康と運動の関係、目的に応じた健康的な運動のしかたについて説明できる。</li> <li>食事と健康の関係、健康的な食事のとり方について説明できる。</li> <li>健康と休養・睡眠の関係、健康により休養・睡眠のとり方について説明できる。</li> <li>喫煙者やその周囲の人に起こる害、喫煙対策について説明できる。</li> <li>飲酒による健康への影響、飲酒による健康問題への対策について説明できる。</li> <li>薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響、薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について説明できる。</li> </ul>	
	後 期	安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患の特徴</li> <li>精神疾患の予防</li> <li>精神疾患からの回復</li> <li>現代の感染症</li> <li>感染症の予防</li> <li>性感染症・エイズとその予防</li> <li>健康に関する意思決定・行動選択</li> <li>健康に関する環境づくり</li> <li>事故の現状と発生要因</li> <li>安全な社会の形成</li> <li>交通における安全</li> <li>応急手当の意義とその基本</li> <li>日常的な応急手当</li> <li>心肺蘇生法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患の発病の要因とおもな症状、現代社会における精神保健の課題について説明できる。</li> <li>精神疾患を予防する方法について説明できる。</li> <li>精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境について説明できる。</li> <li>感染症、新興感染症や再興感染症が流行する要因について説明できる。</li> <li>感染症への個人と社会の対策について説明できる。</li> <li>性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点、予防とその対策について説明できる。</li> <li>意思決定・行動選択に影響と与える要因、健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について説明できる。</li> <li>社会環境の健康への影響、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。</li> <li>事故の実態、人的要因と環境要因について説明できる。</li> <li>安全のために必要な個人の行動、環境整備について説明できる。</li> <li>交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備、交通事故における責任について説明できる。</li> <li>応急手当の意義と手順について説明できる。</li> <li>日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明し、実際にできる。</li> <li>心肺蘇生法の方法と手順について説明し、実際にできる。</li> </ul>
取得可能な検定や資格				
なし				